

会報 第15号 新年号

島根県精神当事者連絡会



年頭あいさつ 会長 Sさん

2010 年明けましておめでとうございます。当事者連絡会も5年目を向かえます。総会や研修会では、相互に得るところの多い話し合いになりました。2010 年が始まりました。私達が、障がいをものともせず、明るく、楽しく、元気に暮らせる社会にしましょう。

役員として Oさん

この度連絡会の役員として、新しくメンバーに入りました。自分は、話を聞く事はとくいなのですが、「年金と生活について」と言う話を各審に別れて、自分が代表で皆んなの5人の話を代表で発表する役を受けた。頭の回転が、普段テレビや、ラジオ、音楽鑑賞がいつもの言なので、皆んなの代表者みたいに意味をうまくまとめてマイクで言えなかった。でも、皆んなの拍手が、多くて安心、嬉しかった。自分は思いますが、大切な、年金や保護のもらったお金で自分みたいに、まだ親がいて、親の年金と、自分の年金そのお金は自分が生きていくためにはないと一般的な、社会生活ができなくなる。車と原付を足として自分は使っている。ガソリンをつぐ、オイル交換をする、車検は、お父さんが、払ってくれる。2人兄弟で、4つ上に頭の最高にいい兄がいて、大阪門真市の、パナソニックにいる。自分は、その兄とは真逆で勉強はだめ、分からない中卒です。でも、長沼 六一先生に会って入院した事もある。福祉の世界に入って良かった。今、15歳からかかって、40歳になります。約25年の事です。

大田市の研修会を終えて 連絡会理事

研修会も、テーマの説明、グループワーク、発表が終わり、最後の全体を通しての質疑応答に入りました。このとき驚くことがおきました。参加者から、心の危険信号が出たときは、仕事を休み体調を整えないといけないという発言がありました。すぐに、一人手が上がり、マイクを渡しました。こんな発言がありました。「わたしは、危険信号を感じることがないため、入院をくりかえしています。」と。そして、泣き出されました。やっと出ました。心の発言が。いや、魂の叫びが。わたくしは、研修会で、本音の発言が出るだろうかと、いつも思っていました。「出たぞ」とうれしさを通りこして、感動を覚えました。研修会は、この発言で成功しました。仲間に、自分の弱さを訴えられたのです。勇気ある発言だったと思います。ここで必要なのは、これからの仲間のサポートです。危険信号がわからない方には、仲間からの声が必要です。すくなくとも、参加された方は、この発言をされた方の危険信号を見てあげられると思います。連絡会の設立の趣旨でも相互支援が行われるはずで。私たち連絡会の役員も、今後もっとがんばろうと思ったはずで。身を削って活動してきた甲斐があったのだから。以上、わたしの感じた研修会の感想を終わります。



追伸 Hさん、遅刻してごめんなさい。

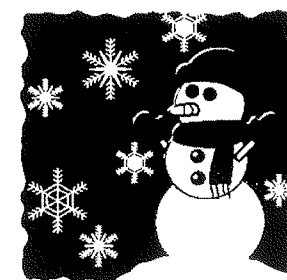
第4回島根県精神当事者連絡会 研修会の模様 (21年11月29日)(日) 亀の子(大田市)



第4回島根県精神当事者連絡会 研修会を終えてのアンケート調査のまとめ

アンケート調査にご協力ありがとうございました。テーマは、「年金と生活について」でした。

1. アンケート調査の内分けは、当事者が13人、家族が1人、一般が1人でした。
- 2のどこで知りましたか？では
社会福祉施設が2人、支援センターが2人、家族が1人、友人・知人が4人その他では、スタッフが1人、当事者会からが5人でした。
3. 1) 研修会の内容についてでは？
非常に興味深かったが、5人、興味深かったが8人でした。
2) 感想を自由に書いて頂きましたが、まとめると、当事者の考えを聞いて良かったし、参考になったという人が多かった。
又、食が大切で、参加者の金銭感覚の乱れを感じた。
又、心まで貧しくならないようにしたい。又、年金生活の増収、割引き制度の改革を望む。
又、グループワークの話がとてもよかった。
4. 今後の企画としての希望は？では、
○体験発表型研修会 ○将来について考える会
○専門家（医療関係の情報等）を呼んで質疑応答型式の討論会
○当事者が地域で暮らす方法の検討会
- 5のその他では？
○充実感のある生き方が重要。○理不尽な事件を減らしたいと思う。
○親に尻ぬぐいさせないようにお金を使いたい。



まとめ

全体的に、当事者1人1人が収入が違うけれど、だれもお金で困っているようです。もっと多くしてほしいと思います。これは、行政に言うべき点だと思います。年金支給月の15日までは、たいへんだと思います。ですが、計画を立て、あるものでやらなければなりません。権利擁護を使うとか、生活保護を受ければ、他の病気については安心です。ですが、かなり自由がきかなくなります。色々、工夫して生活してみましょう。

●原稿を募集します。投稿され、掲載された方は、若干の御礼をしますので、お願いいたします。